

高島市農畜産業・水産業振興戦略プラン【概要版】

高島 大地と水の“恵み”“なりわい”

～ 新しい 高島版 農畜産業・水産業の実現 ～

1 はじめに

（１）背景

- 人口減少社会の到来
- 主食用米の消費減退について
- TPP 協定への対応
- 米の生産調整の見直しについて

（２）計画の目的

「高島市総合計画」および「高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえて、人口減少・少子高齢社会に対応しながら、高島市の農畜産業・水産業の健全な発展を図ることが必要です。優れた景観や豊かな環境を維持・保全しながら、地域資源の効果的な活用、林業、商工観光との枠組みを超えた連携を進め、地域住民や都市住民との交流・連携を図り、農畜産業・水産業に係る施策を総合的に実施していくため、「高島市農畜産業・水産業振興戦略プラン」を策定し、施策の展開方向を定めます。

（３）計画期間

本戦略プランは、「高島の農業活性化プラン」（平成 21 年 11 月）の後継として、「高島市総合計画」を上位計画とする高島市の農畜産業・水産業に係る中長期的な計画として位置づけます。

計画期間を平成 28 年度から平成 37 年度の概ね 10 年間として、5 年間で中間見直しを行います。

2 現状と課題

(1) 地域の概況と課題

本市の農畜産業・水産業の現状と課題について

■農地

- ・経営耕地面積の減少
- ・農業施設の老朽化
- ・耕作放棄地面積の増加
- ・鳥獣害による被害
- ・土地改良施設の老朽化

■畜産業

- ・畜産飼育戸数の減少
- ・繁殖・肥育飼養規模の拡大

■農業生産

- ・主食用米生産の偏重
- ・水田野菜の生産振興
- ・農地の多面的機能の発揮
- ・農産物直売所等の販路拡大

■漁業

- ・組合員数、漁獲量の減少
- ・新たな漁業の必要性

■農家

- ・農業従事者の高齢化
- ・農家の減少
- ・担い手育成の必要性
- ・農地集積の必要性

■6次産業化

- ・6次産業化推進の必要性
- ・農産物直売所等の販路拡大
- ・農産ブランド認証制度の推進
- ・女性の起業支援
- ・農村環境資源との連携

3 意向調査

(1) アンケート調査の結果

本市の市民、生産者、消費者ならびに販売事業者の意向について

■市民の意向

- ・地域産業の振興
- ・地域資源を活かしたものづくり

■消費者の意向

- ・農産物の購入状況
- ・高島市農産ブランドの認知度が低い

■農業生産者の意向

- ・青壮年層の経営規模拡大意向
- ・有機農業の導入意向
- ・減農薬、減化学肥料による生産拡大意向

■道の駅・直売所の意見

- ・高島市のイメージPR強化
- ・戦略製品の生産振興が必要

4 高島市農畜産業・水産業の将来像

(1) 将来像

高島市は、県内でも屈指の優れた自然・景観・食・やすらぎに恵まれ、それらを求めて多くの人々訪れる魅力を有しています。

これまで以上に大地と水の恵みに感謝しながら、まず“これまでのなりわい”を守り続けていくための基盤を確立します。その基盤の上に、本市の魅力である自然・景観・食・やすらぎ等と農畜産業や水産業との関連を深めて、商工業・観光・林業等の振興と相乗効果を発揮するとともに、研究機関との連携による新しい特産品の開発等に積極的にチャレンジします。

高島 大地と水の “恵み” “なりわい”
～ 新しい 高島版 農畜産業・水産業の実現 ～

“恵み”

- ◇高原、棚田、開拓農地、湧水、琵琶湖の恵み
- ◇自然・景観・食・やすらぎと農畜産業・水産業の連携

“なりわい”

- ◇高島を代表する“なりわい”の実現と高島ブランド確立
- ◇就業希望者が移り住んでくる高島市の実現

(2) 施策の体系・目標水準

次のように施策の体系を定め、評価指標により施策の効果を確認しながら、本市の農畜産業・水産業の抱える課題に対応していきます。

施策項目

1

生産基盤

- ・生産基盤の適正管理
- ・農村まるごと保全向上対策の促進
- ・中山間地域の農地保全
- ・耕作放棄の防止対策
- ・鳥獣害対策の促進
- ・市有施設の管理

施策項目

4

畜産業

- ・地域の畜産クラスター体制の充実と事業支援
- ・畜産業の安全・安心の確保

施策項目

2

農業生産

- ・高島産米（近江米）の生産振興
- ・たかしま野菜等の生産振興
- ・経営所得の安定対策
- ・地産地消の促進
- ・多面的機能の発揮
- ・環境保全型農業の促進

施策項目

5

漁業

- ・湖魚養殖による新しい漁業開発
- ・漁場環境の保全・向上

施策項目

3

担い手

- ・担い手農家の育成と農地の集約
- ・新規就農者の積極的な確保・育成

施策項目

6

6次産業化等

- ・特産品販路の戦略的な拡大
- ・農業体験等を活かした観光交流振興
- ・特産品のブランド化
- ・農産物直売の振興
- ・女性等の起業支援

(3) 連携事業

農畜産業・水産業の分野だけでなく、他分野との連携を深めることが必要であり、戦略実現に向け、部局間で連携して取り組む施策を推進します。

基本的な考え方

- ・複数の施策を組合せ、分野を横断して相乗効果を発揮する事業を戦略的に設定し、推進していきます。
- ・マーケティング、消費者・観光客からの評価を取り入れながら、常に改善・向上を意識するよう努めます。
- ・当初は試行的に着手し、改善を重ねながら、事業を拡大に努めます。

連携事業

1

新たな担い手の 発掘と育成

- ・新規就農者に加え、後継者支援も含めた中核農家の育成
- ・担い手発掘に向けたインターンシップやイベントの開催
- ・農地だけでなく、住居や農業機械を含めた全面的な就農支援
- ・支えあう仲間づくり、メンター等による支援
- ・産官学連携による耕作放棄地再生・活用の取り組み検討

連携事業

3

“育てる”特産品の開発・ 安定生産と地域振興

- ・新たな漁業として琵琶湖特産の淡水魚養殖の試行検討
- ・安定的なジビエ供給に向けた検討
- ・廃校舎を活用した菌床キノコ類生産支援
- ・熟成ジビエ肉など新たな産品の開発
- ・ジビエ料理の提供、皮・骨などの広範活用方策の検討

連携事業

2

戦略的な地域ブランド強化 と特産品開発・販路拡大

- ・地域ブランド強化に向けた、地産外消の推進
- ・戦略的なふるさと応援寄付金返礼品の検討
- ・地域がうるおう戦略特産品とサービス・商品等の開発
- ・市内の多様な消費先でのマーケティング調査、最高品質産品の提供
- ・農家所得向上につながる農産ブランド認証制度の見直し検討

連携事業

4

交流拠点の機能強化と旅行 商品開発

- ・景観と体験を活かした6次産業化の重点拠点（ゆめの・たいさんじ風花の丘・うかわファームマート・マキノピックランド等）として機能強化
- ・棚田や開拓農村等の優れた景観、野菜、特産品やトレッキング、湖魚料理体験を組み込んだ魅力あふれる商品開発、観光エージェントとの連携